

令和 7 年安全安心なまちづくり関係功労者表彰



令和 7 年11月18日 於：首相官邸

令和7年安全安心なまちづくり関係功労者表彰

受賞者名簿

(個人、団体の順に五十音順)

【防犯活動】

- | | |
|----------------------|---------|
| 1 宇多津町安全・安心まちづくりの会 | (香川県警察) |
| 2 内原地区自警団グリーンパトロール隊 | (茨城県警察) |
| 3 金沢工業大学サイバー防犯ボランティア | (石川県警察) |
| 4 川西・梅が丘地域づくり協議会 | (三重県警察) |
| 5 寒河江市防犯協会寒河江支部 | (山形県警察) |
| 6 なでしこセーフティーレディース | (大阪府警察) |
| 7 福岡大学「ななくま元気にするっ隊」 | (福岡県警察) |
| 8 六名学区防災防犯協会連合会 | (愛知県警察) |

【再犯の防止等に関する活動】

- | | |
|-----------------------|-----------|
| 1 内田日出男 | (大分県警察) |
| 2 一般社団法人道北地方物質使用障害研究会 | (法務省保護局) |
| 3 一般社団法人奈良県社会福祉士会 | (奈良地方検察庁) |
| 4 金沢保護司会 | (横浜保護観察所) |
| 5 株式会社らむれす | (札幌刑務所) |
| 6 更生保護施設等支援協議会 | (法務省保護局) |
| 7 更生保護「ひまわりテレホン」委員会 | (奈良保護観察所) |
| 8 埼玉福興株式会社 | (法務省矯正局) |

※括弧内は推薦団体

功 績 概 要

団 体 名	宇多津町安全・安心まちづくりの会
所 在 地	香川県綾歌郡宇多津町
代 表 者	宮崎 広文
功 績 の 概 要	平成 16 年、暴走族等のい集事案の多発により、住民の不安感が高まっていく中、青色回転灯等装備車両によるパトロール制度が運用開始となったことを契機に、自主的な安全活動を推進することなどを目的に発足。 主な活動として、平日は、小学校下校時間及び夜間の 2 回、町内全小学校、中学校周辺の青色回転灯等装備車両による防犯パトロールを実施している。 また、学校が夏休みの期間には、会員が所属する団体や事業所と連携の上、100 人規模での徒歩パトロールを行い、地域全体での防犯活動を推進している。 さらに、大型商業施設等で実施する各種犯罪被害防止キャンペーンでは、学生ボランティアや地域住民の参加を促し、地域一帯となった広報活動を展開している。 同団体は、パトロール活動に当番制を導入し、持続的な活動を展開しているほか、会員の積極的な呼びかけにより他のボランティア団体や地域住民等と連携した防犯活動を行い、多くの住民参加による防犯活動の活性化を推進し、町全体の防犯意識の高揚及び安全安心なまちづくりの推進に大きく貢献している。

推薦者：香川県警察



功 績 概 要

団 体 名	内原地区自警団グリーンパトロール隊
所 在 地	茨城県水戸市
代 表 者	久保田 圀男
功 績 の 概 要	平成 16 年、「自分たちの地域は自分たちで守ろう」をスローガンに掲げ、徒歩パトロール及び隊員の健康増進を目的に発足。 主な活動として、金融機関、大型ショッピングセンター、住宅街等において青色回転灯等装備車両による防犯パトロールを実施しているほか、各班で地域を指定した徒歩パトロール、隊員による散歩をしながらのながらパトロールを実施している。 また、学校等と連携し、登下校時間帯の見守り活動を実施しているほか、新入学時期には、登下校に慣れない子供達の付き添い、立哨パトロールを実施し子供の安全確保に尽力している。 さらに、各種イベントにおける広報啓発活動、防犯広報誌や防犯広報看板の作成、独自ホームページによる広報など、幅広い広報活動を実施しているほか、意見交換会や研修会を定期的に行い、ボランティア活動の活性化を推進している。 同団体は、旺盛なボランティア精神により、地域に根ざした様々な防犯活動をきめ細かく展開し、地域住民の安心感の醸成及び安全安心なまちづくりの推進に大きく貢献している。

推薦者：茨城県警察



功 績 概 要

団 体 名	金沢工業大学サイバー防犯ボランティア
所 在 地	石川県野々市市
代 表 者	向井 宏明
功 績 の 概 要	情報セキュリティに関する勉強会として活動を開始、現在は、情報セキュリティ・スキルアッププロジェクトの一環として、地域におけるサイバー防犯に関する活動を推進している。 主な活動として、小中学校を対象にした情報セキュリティ教室を開催しており、事前にヒアリングを行い、実情に沿った題材を取り扱うなど、工夫を凝らした教育活動を推進している。 また、被害防止広報啓発動画の作成、フィッシングサイトのテイクダウン活動を行うなど、サイバー空間の安全確保に向けた各種活動に取り組んでいる。 さらに、小学生から高校生、その保護者を対象としたサイバーセキュリティ学習用のゲームサイトを制作し、各種イベント等において、サイトを活用した広報啓発活動を推進している。 同団体は、メンバーが現役大学生で構成され、年々、入れ替わりがある中、先輩から後輩に対する活動要領等の継承にも力を入れ、持続可能な活動を推進し、安全で安心して利用できるサイバー空間の確保に大きく貢献している。

推薦者：石川県警察



功 績 概 要

団 体 名	川西・梅が丘地域づくり協議会
所 在 地	三重県名張市
代 表 者	福井 重次
功 績 の 概 要	平成 15 年、住民が安全で安心して日々の暮らしを過ごすことができる地域社会を目指し、住民主体でまちづくり活動を実施するために発足。 主な活動として、地域が抱える課題や目指す将来像を明確化した「地域ビジョン」を策定し、地域の住宅街や公園等における徒歩パトロールや青色回転灯等装備車両による防犯パトロールを実施しているほか、登下校時間帯の通学路見守り活動を行っている。 また、自治体等の補助金を活用し、地域に出入りする主要な道路への防犯カメラ設置を行うとともに、同防犯カメラの管理に関する規約を定め、定期点検や交換を行うなど、地域における安全安心なまちづくりを推進している。 さらに、集会所用地等を活用した駐車場事業により防犯活動資金を獲得するなど、工夫を凝らした取組を行っている。 同団体は、「地域ビジョン」による計画的な防犯活動や「資金」等の課題を克服するための工夫を凝らした取組など、他のボランティア団体の模範になる先進的な活動により、持続可能な防犯ボランティア活動を推進し、安全安心なまちづくりの推進に大きく貢献している。

推薦者：三重県警察



功 績 概 要

団 体 名	寒河江市防犯協会寒河江支部
所 在 地	山形県寒河江市
代 表 者	木村 二男
功 績 の 概 要	平成 17 年、地区内での不審者事案の連続発生を機に、地域内における安全安心の機運が高まり発足。 主な活動として、日常的に構成員が連携して、小中学校等の通学路における登下校時間帯の見守り活動、防犯パトロール活動を実施しているほか、生産量全国 1 位のさくらんぼ等、各種農作物の盗難被害を防止するための青色回転灯等装備車両による防犯パトロールに尽力している。 また、自治体の防犯カメラ設置補助事業を積極的に活用し、通学路や不審者多発地点等の犯罪発生が予想される場所への防犯カメラ設置を実現している。 さらに、特殊詐欺等の被害防止対策として、各種広報啓発活動を行っているほか、高齢者宅を戸別訪問し、詐欺被害を防止するための留守電メッセージの録音設定をサポートするといった独自の取組を推進するなど、住民主体の工夫を凝らした防犯活動を行っている。 同団体による地域の実態に応じた献身的な活動は、地域住民の防犯意識を高揚させ、さらに地域の連帯感を醸成しており、安全安心なまちづくりの推進に大きく貢献している。

推薦者：山形県警察



功 績 概 要

団 体 名	なでしこセーフティーレディース
所 在 地	大阪府大阪市
代 表 者	橋本 邦子
功 績 の 概 要	平成14年、地域でひったくり事案が連続発生したことを受け、「自分たちのまちは自分たちで守っていく」という活動理念を掲げ結成。 主な活動として、日常的に、登下校時の通学路見守り活動を実施しているほか、特殊詐欺被害防止漫談の音源を流しながらの青色回転灯等装備車両による防犯パトロール等、工夫を凝らした防犯活動を展開している。 また、通学路の点検や環境浄化活動を行い、地域の危険箇所の把握及び環境の改善に努めているほか、危険箇所を中心とした夜間パトロール活動も実施している。 さらに、同団体は、関係団体と連携したひったくり防止キャンペーンや、女子中高生と連携した痴漢・性犯罪等防止キャンペーンを実施するなど、各種犯罪被害防止に向けた取組を幅広く行っている。 同団体は、日常的な活動のほか、関係団体や学生等と連携した幅広い防犯活動を展開しており、その積極的な取組は、地域住民から強く支持されており、地域住民の防犯意識の高揚と安全安心なまちづくりの推進に大きく貢献している。

推薦者：大阪府警察



功 績 概 要

団 体 名	福岡大学「ななくま元気にするっ隊」
所 在 地	福岡県福岡市
代 表 者	小坪 叶侑
功 績 の 概 要	平成 22 年、全国的に防犯ボランティア団体の構成員の高齢化が問題となったことを受けて、自主防犯団体の活性化、若い世代の参加促進を目的として結成。 主な活動として、地域住民や他の防犯団体と協働して、夜間人通りの少ない路地等を巡回する夜間パトロールを実施しているほか、インターネットやSNS上の有害情報削除に向けたサイバーパトロール活動を推進している。 また、未就学児や小学生に対する防犯教室では、年代に合わせて防犯クイズを取り入れるなど、工夫を凝らした防犯教育を推進している。 さらに、自転車盗難防止タグのデザインを考案し、これが県内各警察署で活用されているほか、他団体主催の有害環境浄化活動への参加、地域交流サロンにおける住民と連携した活動等、地域と連携した活動を推進している。 同団体は、大学生ボランティアとして、若者ならではの視点から地域防犯活動に尽力し、警察や自治体のほか、既存の防犯ボランティア団体等と世代を超えて連携した防犯活動を行い、安全安心なまちづくりの推進に大きく貢献している。

推薦者：福岡県警察



功 績 概 要

団 体 名	六名学区防災防犯協会連合会
所 在 地	愛知県岡崎市
代 表 者	長坂 秀志
功 績 の 概 要	昭和 23 年、平穏な家庭生活の確保には安全で安心して暮らせるまちづくりが重要と捉え発足し、「我が学区内の子供や孫たちを犯罪者等から守る」をスローガンに各種活動を推進している。 主な活動として、日常的に、徒歩や青色回転灯等装備車両による防犯パトロールを実施しているほか、小学校通学路における登下校時の見守り活動を推進している。 また、小学校において、全校児童対象の防犯講話を行っているほか、地域の防犯上における危険箇所を把握する「まちの防犯診断」へ参加し、公園への防犯カメラ設置や通学路のガードレール設置など、地域の防犯環境の整備にも尽力している。 さらに、空き巣被害が多発した際は自治体の補助金制度を活用し、「補助錠」を購入、学区内の希望者に対する配布、取付けを実施しているほか、特殊詐欺被害防止対策として、被害防止機能付き電話機の購入補助制度を団体独自で運用するなど、先進的な取組を推進している。 同団体は、地域の安全安心のために、あらゆる視点から、各種防犯活動を推進しており、「地域ぐるみで行う」をテーマに地域住民や警察、自治体と連携して、長きにわたり地域の中心となって防犯活動に尽力しており、その活動は、地域住民の安心感の醸成に寄与し、安全安心なまちづくりの推進に大きく貢献している。

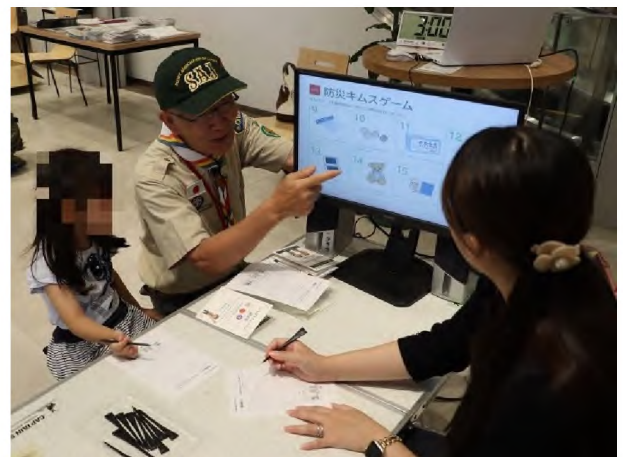
推薦者：愛知県警察



功 績 概 要

氏 名	内田 日出男
職 業	無職
功 績 の 概 要	平成2年から少年補導員として活動し、平成28年から令和6年まで大分県少年警察ボランティア協会会長を務めた。 平成9年からは保護司としても活動している。 地域の関係機関・団体を取りまとめ、大分県の少年警察ボランティアのリーダーとして、街頭少年補導活動を継続的に実施してきたほか、他の少年補導員に対して少年補導活動の重要性・必要性を説き、きめ細やかな指導を行うなど、後進の育成にも尽力している。 非行少年の「立ち直り支援活動」にも熱意をもって取り組み、コロナ禍以降再開されずにいた立ち直り支援活動（農業体験）について、県下各地区の少年警察ボランティアのリーダーにその重要性を訴え、各地区の賛同を得て再開に至るなど、少年の再非行防止に多大な貢献をしている。

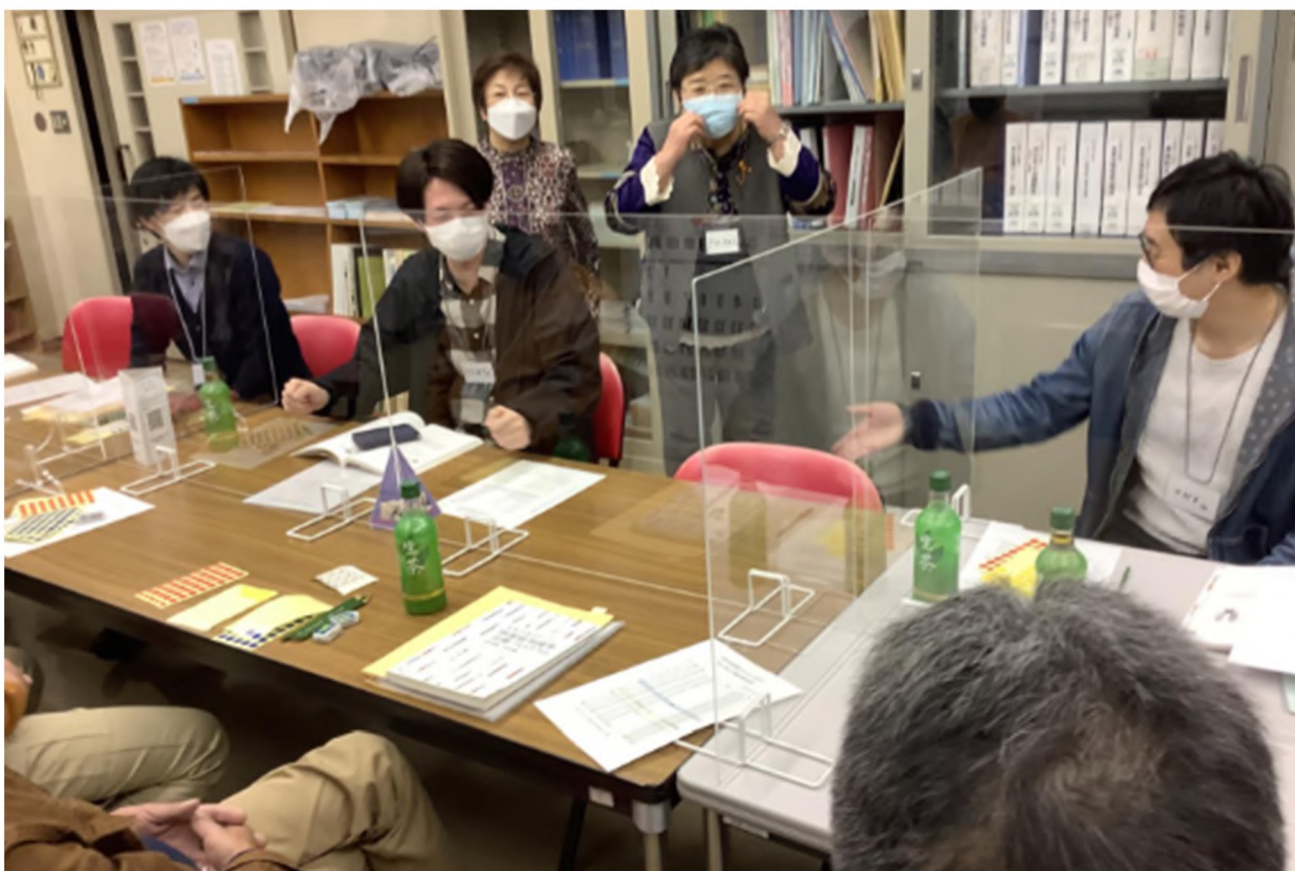
推薦者：大分県警察



功 績 概 要

団 体 名	一般社団法人道北地方物質使用障害研究会
所 在 地	北海道旭川市
代 表 者	杉本 啓二
功 績 の 概 要	平成26年設立。 薬物やアルコール等に関する物質使用障害の当事者が適切な回復支援を受けられる地域づくりを目指し、道北地域に住む当事者向けのリカバリーセミナーを開くほか、当事者に寄り添う支援者を対象とした物質使用障害学習会を開催している。 特に、グループミーティングを行い、当事者同士によるピアサポート効果を取り入れながら回復を目指す道北リカバリーセミナー「Polar Bears」は、当事者が保護観察期間中から地域の支援につながることでできる貴重な社会資源となっている。 また、地域内外の関係機関・団体と連携し、交流することで、新たな支援者の育成や、物質使用障害に関する地域のネットワークづくりにも貢献している。

推薦者：法務省保護局



功 績 概 要

団 体 名	一般社団法人奈良県社会福祉士会
所 在 地	奈良県橿原市
代 表 者	西田 利昭
功 績 の 概 要	平成7年設立。 平成26年度から、奈良県の地域生活定着促進事業を受託し、奈良県地域生活定着支援センターを運営している。 令和2年には、地域の関係機関・団体とともに「あしかプロジェクト」（あ：新しい し：社会資源どうしの か：関わり方を考える）を創設し、奈良県内で再犯防止に取り組む団体間の連携体制を強化することで、「断らない支援」の実践を積み重ねている。 また、同プロジェクト主催の研修会は、検察庁、保護観察所、奈良県等を含む関係機関・団体を対象に、参加機関等を増やしながらこれまで9回開催されており、参加者は延べ300名を超えているなど、安全・安心な地域づくりに大きく貢献している。

推薦者：奈良地方検察庁

功 績 概 要

団 体 名	金沢保護司会
所 在 地	神奈川県横浜市
代 表 者	露木 育夫
功 績 の 概 要	昭和27年設立。 発足後70年以上にわたり、地域の犯罪予防活動等に取り組んでいる。 横浜市金沢区内において、薬物事犯による保護観察対象者が増加していること、薬物事犯者の多くが再犯に至っていることを危惧し、薬害教育を充実させるべく、平成20年頃から、同区内の中学校と連携し、中学生を対象とした「薬物乱用防止教室」を開催しており、平成27年からは対象を小学生にも広げ、近年では高校生にも拡大して実施している。 長年にわたる活動により、同保護司会による薬物乱用防止教室を受講した児童・生徒数は累計1万人に上っている。 さらに、地域での行事において、薬物乱用防止のための啓発活動も実施するなど、地域における薬物乱用防止の取組実績は極めて顕著である。

推薦者：横浜保護観察所



功 績 概 要

団 体 名	株式会社らむれす
所 在 地	北海道札幌市
代 表 者	杉澤 洋輝
功 績 の 概 要	平成５年設立。平成10年、三角山放送局を開局。 コミュニティ放送を行う事業者であり、平成23年から、札幌刑務所における所内ＤＪ番組「苗穂ラジオステーション」を制作し、放送している。 同番組では、受刑者のリクエストした曲を流す際、受刑者のメッセージをＤＪのコメントとともに紹介しているところ、地域住民にも受刑者の声を届けることを目的として、同年から一般放送を開始した。 同刑務所内で、月２回、30分番組として放送され、同刑務所での放送後、同じ内容で一般放送されている。 地域住民の再犯防止に対する理解を促進する取組もあり、再犯防止に大きく貢献している。

推薦者：札幌刑務所



功 績 概 要

団 体 名	更生保護施設等支援協議会
所 在 地	岡山県岡山市
代 表 者	炭谷 茂
功 績 の 概 要	平成30年設立。 「食品ロスで再犯防止を」をテーマに、企業の社会的責任（CSR）の一環としてスーパーマーケット等から提供された食品を更生保護施設、薬物依存症回復支援施設等に届けるほか、当該施設がスーパーマーケット等から直接食品を引き取ることができるよう、そのマッチングや引取りに関するサポートも実施している。 再犯防止を目的に掲げたフードバンクは他に例を見ず、食を通した犯罪をした者等の自立支援のみならず、再犯防止に対する企業の理解促進につながるものであり、地域社会における再犯防止への貢献は顕著である。

推薦者：法務省保護局



功 績 概 要

団 体 名	更生保護「ひまわりテレホン」委員会
所 在 地	奈良県奈良市
代 表 者	宝来 一典
功 績 の 概 要	平成12年設立。 同年から、更生保護施設至徳会内に電話相談室を常設し、保護司である相談員がボランティアとして保護観察終了者等からの電話相談に従事している。 令和6年度の開設日は278日、相談を受けた電話は71件、対応した総時間数は1,115分であり、相当程度の相談実績を有している。 保護司を中心に、奈良県内の更生保護関係団体が連携し、25年にわたって継続的に行われている他に類を見ない取組であり、地域社会における再犯防止の推進に大きく貢献している。

推薦者：奈良保護観察所



保護司による電話相談
更生保護「ひまわりテレホン」
0742-20-6000
 月曜日～土曜日 午後1時～4時まで（祝日を除く）



ひとりで悩まないでお電話ください

匿名でけっこうです。
 秘密はかたく守ります。
 虐待、いじめ、DV、おちこちのトラブルなど、お困りの
 時にはお電話ください。
 犯罪や非行にいたった人びとの社会復帰を支援し、
 被害の癒えをお聞かせします。
 ご相談は無料です。

（更生保護「ひまわりテレホン」事務局事務局）

功 績 概 要

団 体 名	埼玉福興株式会社
所 在 地	埼玉県熊谷市
代 表 者	新井 利昌
功 績 の 概 要	平成8年設立。 農福連携企業として障害者の雇用機会の創出に積極的に取り組んでおり、約20年前から障害を有する犯罪をした者等の雇用や就労支援を行っている。 同社の農業を通じた包括的な就労支援・居場所づくりを行う取組は、触法障害者の立ち直りに資することはもちろん、地域社会に対し、犯罪をした者等を雇用し、共生するという選択肢を提示していると言える。 同社は、犯罪をした者等の立ち直りに向けた農福連携の取組を推進するパイオニアとしての役割を果たしており、再犯防止に大きく貢献しているものである。

推薦者：法務省矯正局

